

外国人従業員労務管理システム

ウイル、無料機能拡充

ウイルグループは、外国人従業員の労務管理を支援するクラウドシステム「ビザマネ」の料金体系を変える。管理対象30人以内で無料で使える機能を現状の二つから六つに増や

す。同30人以上の場合、月額は1万円に引き上げ、人数ごとに加算する。外国人雇用が少ない企業向けに導入を促進する。変更は入国本格化を見込む2022年1月1日より実施する。ビザマネは在留カードの偽造をチェックし、各種書類をデータで回収・保存、更新時期を通知することなどにより外国人従業員の在留管理も効率化できる。不法就労を防げるため大手飲食店などで利用が広がっている。無料機能は在留カードの偽造チェックと在留期限通知のみだったが、就労可否判定や10カ国語翻訳のほか、行政書類の自動生成などを追加。有料プランで対象50人以内は消費税抜きで2万円からなどとしていたが、対象31人以上は1人当たり同300円に変更する。画面デザインも操作しやすいよう刷新する。



▲ビザマネは、在留カード用ICチップで偽造在留カードを判別する